

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	応急手当の普及・啓発事業		
事業担当	消防本部 消防救急課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安全〉災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'03	3 迅速かつ的確な消防・水防と救急・救助、救援の体制を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
講習受講修了者数が増え、救命率の向上が図られています。		救急患者の救命率向上のため、応急手当講習会、普通救命講習会を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	普通救命講習会開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	160	160	160		
	実績	158	223	168		
活動指標②	指標名	応急手当講習会開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	70	70	70		
	実績	57	65	76		
成果指標①	指標名	普通救命講習修了者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	4,300	4,300	4,300		
	実績	2,713	3,764	3,063		
成果指標②	指標名	応急手当講習修了者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	2,450	2,450	2,450		
	実績	2,378	3,640	3,661		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
多くの市民に対して、普通救命講習会及び応急手当講習会を通じ、救命処置の大切さを伝え、応急手当の普及・啓発を図ることができました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	応急手当に関する市民のニーズが高まる中、普通救命講習会及び応急手当講習会を開催し、受講者が増えることにより、救命率が向上することから、事業の必要性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	普通救命講習会等を開催することにより、救命の必要性が理解されるとともに、自動体外式除細動器(AED)を適切に使用できる人が増えることで、救命率が向上することから、事業の有効性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	普通救命講習会等で、指導員の資格を取得のための応急手当普及員講習会は、消防職員が指導を行っており、普通救命講習会及び応急手当講習会の指導については消防職員及び応急手当普及員が指導します。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	応急手当普及員講習会を開催することにより、指導者を増やすことで、事業所内でも普通救命講習会等を開催して、より一層の受講者の増員を図ります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 救急患者の救命率の向上のためには、講習会修了者や指導にあたる応急手当普及員の増員が必要不可欠です。今後も市民に対して広く応急手当の普及・啓発を図るため、成人だけでなく、小中学生も対象に事業を展開する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		講習会の開催	講習会の開催	講習会の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	333
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	1,423	1,399	888
事業費 (A)		1,423	1,399	1,221
執行率 (%)		98.34	98.24	98.47

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 小中学生を対象とした応急手当講習会を開催することにより、命の大切さや救命技術・知識について普及啓発を図ります。また、市民の力を活用して、応急手当の普及・啓発を実施するために、指導員有資格者の増員を図ります。
課長コメント 普通救命講習、応急手当受講者の増員を図るとともに、小中学生対象の講習会を実施し、更なる救命率の向上を目指します。